

古の戦い跡をたどる

桶狭間の戦い

天下分け目といわれた関ヶ原の戦い(1600年)からさかのぼること40年。日本中が戦国大名どうしの戦いに明け暮れていた永禄3年(1560年)、尾張(現在の愛知県西部)において、日本の歴史にその名を残す戦いが起きた。「桶狭間の戦い」である。戦ったのは、当時、駿河・遠江(現在の静岡県)で強大な勢力を誇っていた今川義元と、尾張を統一したばかりの弱小大名織田信長。力の差は歴然であった。しかし、大軍を率いて尾張に侵攻した今川義元に対し、織田信長は自ら先頭に立って出陣し、「桶狭間」で義元を打ち破り、歴史的な勝利を飾った。その後、織田信長は東海・北陸・近畿へと勢力を拡大し、豊臣秀吉の天下統一、徳川家康の江戸幕府へつなげる礎を築いた。

明暗を分けた二人のプロフィール

織田信長



天文3年(1534)生。出生地は尾張勝幡城など諸説あり。永禄2年(1559)までに本家の清須・岩倉両織田家を滅ぼし尾張を統一。桶狭間の戦い後、勢力の拡大とともに、居城を清須から小牧、岐阜、安土へと移す。この間、天正元年(1573)に室町幕府を滅ぼす。天正10年(1582)、中国・四国制圧を期して上洛中、本能寺で明智光秀の謀反にあい自害。

今川義元



永正16年(1519)生。今川氏親の五男。兄の相次ぐ急死と家督争いの結果、天文5年(1536)、家督を継ぐ。天文22年(1553)には仮名目録追加を制定し、駿河・遠江から三河にわたる領国の統治に力を入れた。天文23年(1554)、北条氏康・武田信玄と同盟を結び、織田氏との抗争に専念する態勢をつくったが、永禄3年(1560)、桶狭間に討死。

※写真の銅像は桶狭間古戦場公園にあります。

桶狭間の戦いにおける両軍の動き

桶狭間の戦いは永禄3年(1560)の5月19日に起きたと伝えられている。戦いをめぐる一連の出来事については、資料によって記述のされ方が異なるが、「信長公記」による織田信長・今川義元の行動の様子は次のとおりである。

織田信長 今川義元

5月17日 沓掛城へ入る

5月18日 夜 今川方の武将、松平元康の大高城への兵糧入れが完了

5月19日 早朝 5人の小姓を引き連れて清須城から出陣

午前8時頃 熱田へ到着。熱田神宮の南、源太夫殿宮(今日の上知我麻神社)で鷲津・丸根岩の陥落を見る

丹下砦へ入る

善照寺岩へ入る (ここで味方の軍勢が揃う)

途中、織田方の武将、千秋四郎・佐々木正が今川軍に攻撃を仕掛けるが討ち死に

中島砦へ入る

この間の詳細な経路は記述なし

桶狭間へ到着

急雨が晴れるのを待って攻撃開始

正午頃 「おけはざま山」にて休息を取る。鷲津・丸根岩の攻略に満足し、謡曲を3番うたう。

午後2時頃 織田軍に攻め込まれ討ち死に

※織田信長は出陣の際、熱田神宮に戦勝祈願したともされており、同神宮には戦いの後織田信長が寄進したと伝わる「信長塀」が残っている。

二つの桶狭間古戦場と「おけはざま山」

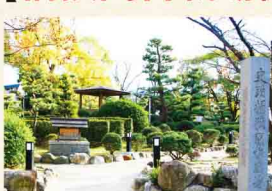
現在、「桶狭間古戦場」と呼ばれる場所は2カ所ある。ひとつは名古屋市区にある「桶狭間古戦場公園」周辺。もうひとつは、愛知県豊明市にあり国の史跡となっている「桶狭間古戦場伝説地」である。

桶狭間古戦場公園 名古屋市区



「おけはざま山」と考えられている丘陵地の西側に位置し、織田信長の攻撃を受けた今川義元は丘陵地から退き、この場所で討ち取られたともいわれる。関連する石碑などが残っている。

桶狭間古戦場伝説地 豊明市



明和8年(1771)に建てられた「今川上総介義元戦死所」などの七石表、文化6年(1809)の弔古碑、明治9年(1876)の今川義元墓碑などの石碑があり、昭和12年(1937)に国の史跡に指定された。

桶狭間の戦いに従軍した太田牛一が著した「信長公記」の研究により、今川義元が本陣を構えたのは「おけはざま山」との説が有力視されている。「おけはざま山」は特定の山の名称ではなく、名古屋市区から豊明市にかけて広がる丘陵と考えられている。

今川義元がどこに陣を張り、最終的にどこで討ち取られたかについては、「おけはざま山」の西側と北側の2カ所(現在公園として整備されているあたり)が考えられているが「おけはざま山」が戦いの中心地であったことは確かだろう。

なお、「信長公記」には、おけはざまという所は、「はざま」がぬかるみ、足をとられるような深田があり、草が生い茂る難所であると記されている。

POINT この「桶狭間の戦い広域マップ」を参考に、みなさんが自分自身で「桶狭間の戦い」の舞台となった地を確かめ、戦いを自由に推理してみてください!

桶狭間古戦場 拡大図



1 高根山

標高54.5mで、幕山一帯に布陣した今川方の松井宗信隊が、鳴海方面(中島砦、善照寺)の織田軍の動きを監視する先鋒隊を置いたところである。また、織田信長はおけはざま山に進軍する際、佐々木、千秋を主力とする別部隊にゲリラ戦を命じ、この辺りでも戦闘が行われたという。

2 釜ヶ谷

織田軍が中島砦からこの釜ヶ谷に着いた時は激しい雷雨で、この付近に潜んで突撃の機を窺ったと言われる。そして、雷雨の上がるのを見て、おけはざま山に陣取る今川本陣を急襲し、劇的な勝利をおさめた。また、戦い後織田信長は、この辺りに全軍を集め勝鬨を上げ帰還したと伝わる。

3 セツ塚

勝利を収めた織田信長は、戦死者を埋葬するよう村人に命じ引き上げた。この山裾に7つの穴を掘り塚を作ったと伝わる。以後村人はセツ塚、又は石塚と称し、これを取り壊す者は「たたり」があるといわれ懸念に供養してきた。桶狭間の戦いで戦死者は、諸説あるが両軍合わせ3000~3500人といわれる。

4 桶狭間古戦場公園

織田軍に攻め込まれ、討ち取られたといわれる今川義元最期の地である。園内には、今川義元馬つなぎのわずの木、首洗いの泉跡、駿公墓場と刻まれた墓碑などがある。また、戦い450年を記念し、清須城や沓掛城から桶狭間に至る史跡を配したジオラマ公園に改修し、織田信長と今川義元の等身大の銅像が建立された。桶狭間の戦いを体感してもらえる古戦場の中心施設である。

5 瀬名氏後 陣地跡

今川義元の家臣瀬名氏俊が、永禄3年(1560)5月17日、今川義元の本陣を「おけはざま山」に設置するためここに着陣。のちに村人は瀬名氏俊を「セナヤマ」と呼ぶようになった。

6 戦評の松

今川義元の家臣瀬名氏俊が、ここに武将を集め戦評をしたと言われ、石碑が建っている。また、旧暦の5月19日の真夜中に、白装束を纏い白馬に跨った今川義元の亡霊がこの辺りに現れるとの伝説がある。初代の大松は、伊勢湾台風で枯れ、現在は3代目である。

7 長福寺

天文年間創建の浄土宗寺院。今川義元的首級証に立ち会ったとされる茶坊主林阿彌が、後に持参したといわれる阿彌陀如来本尊や今川義元と家臣松井宗信の木像が安置されている。

8 桶狭間神明社

祭神は天照大神。起源は、桶狭間村開村の祖である南朝の落武者によって奉祀されたともいわれる。

9 桶狭間古戦場 伝説地

◆七石表碑(明和8年/1771年建立) 尾張藩士人見弥太衛門尉が建立。「今川上総介義元戦死所」「松井八郎家成云五郎八」(今川義元の子孫松井宗信)を含む7基。「松井」碑は高徳院境内。

◆弔古碑(文化6年/1809年建立) 津島神社の神官、水室豊長が建立。豊長は松井宗信の子孫にあたる。撰文は尾張藩の儒学者秦鼎、その文字を尾張藩士中西鶴が書いた。

◆馬つなぎのわず 江戸時代から、「この木へ義元が馬をつないでいた」との地元の言い伝えがあった。江戸後期、地元研究者の残した「桶狭間合戦名残」にも記載されている。

◆今川治部大輔義元墓碑(明治9年/1876年建立) 有松町の山口正義が、今川義元の墓碑がないことを嘆き、建立。鳴海町の医師高島崇が撰文と文字を書いている。現在、6月には高徳院住職を招き墓前祭が行われる。

◆桶狭間古戦場趾碑(大正4年/1915年建立) 大正天皇即位記念として、有松町が建立。文字は当時能書で有名な野村素介の筆跡である。

◆義元仏式の墓碑(万延元年/1860年建立) 匿名の人が建てた今川義元の墓碑で、方形の石塔に今川義元の法名「天沢寺殿四品准礼部侍郎秀峯哲公大居士」が刻まれている。「四品」は今川義元の位、「前礼部侍郎」は「前治部大輔」を唐風に称したものの。

◆おかげ地蔵(寛永6年/1853年建立) 幕末、このあたりに「おかげが出る」とのうわさが流れた。このため尾張藩の武士伊那正勝が、ご恩を想うため地蔵尊を建立した。

◆香川景樹歌碑(昭和60年/1985年建立) 江戸後期の歌人、香川景樹は江戸への旅行の途中、行き春と帰りの秋にそれぞれ前後の「辰巳屋」に立ち寄り、桶狭間古戦場の歌を詠んだ。

10 高徳院

明治時代中頃、高野山より寺の名を請い受けて建立された真言宗寺院。毎年6月の桶狭間古戦場まつりでは主会場となる。

11 鷲之森碑

桶狭間古戦場伝説地の南450mの林の中にある。有松町の山口正義が、今川義元墓碑とともに建立。戦いのとき、白鷺2羽が織田軍を導き、舞い降りたという森を記念した。

20 戦人塚(裏面参照)

桶狭間古戦場伝説地の東1.5キロメートル、国道1号の東の丘にある。曹源寺(豊明市)の当時の住職が戦死者を運び葬った。

※①~⑧は桶狭間古戦場保存会(緑区)が作成。⑨~⑪、⑳は豊明市が作成

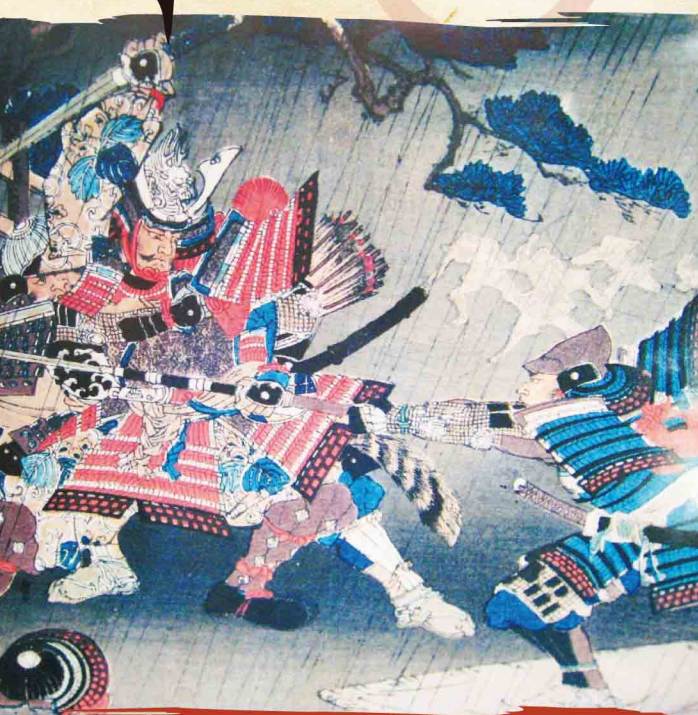
【季節の催し】

- 5月 ●桶狭間古戦場まつり 緑区桶狭間/大池周辺、5月19日直近の日曜日
- 6月 ○桶狭間古戦場まつり 豊明市/桶狭間古戦場伝説地・戦人塚など、第1土・日曜日 ●有松絞りまつり 緑区有松/旧東海道周辺、第1土・日曜日
- 7月 ○高徳院きゅうり祭り 豊明市/高徳院、土用の丑の日
- 10月 ●水上姉子神社例祭 緑区大高、第1日曜日 ●有松天満社秋季大祭 緑区有松、第1日曜日 ○上高根誓固祭り 豊明市/上高根住吉社、第1日曜日 ●桶狭間神明社大祭 緑区桶狭間、第2日曜日 ●成海神社秋例大祭 緑区鳴海、第2日曜日 ●鳴海八幡宮例大祭 緑区鳴海、10月15日の直前の土・日曜日(15日含む)
- 大脇の梯子獅子 豊明市/大脇神社、第2日曜日
- ★緑区区民まつり 緑区/大高緑地
- 11月 ☆豊明まつり 豊明市/豊明市役所など ○曹源寺しもの守り神大祭 豊明市/曹源寺、29日



お土産 & お役立ち情報

1 天ぷら てんちゃん 野菜天ぷら(朝7時~18時) 1,000円以上で和菓子1個進呈(1回限り) 緑区鳴海町宇子山85-2 ☎052-891-1494 月11:00~14:00、17:00~22:00 日曜日(祝日の場合は翌日)	2 山田餅 800円以上で「なるみるもち」1個進呈(1回限り) 緑区鳴海町字花井14-1 ☎052-623-3081 日9:00~19:00 日曜日	3 菊屋茂富 1,000円以上で和菓子1個進呈 緑区鳴海町字相原28 ☎052-621-0150 日9:00~19:00 日曜日
4 喜久家 1,000円以上で和菓子1個進呈 緑区鳴海町向山104-1 ☎052-621-2755 日9:00~19:00 日曜日	5 洋菓子パティスリー 1,000円以上でパティスリー1個進呈 緑区大高町字高見74 ☎052-621-2008 日10:00~20:00 日曜日	6 山盛酒造 事前連絡で酒の購入・酒蔵の見学可 緑区大高町字高見74 ☎052-621-2003
7 神の井酒造 事前連絡で酒の購入・酒蔵の見学可 緑区大高町字高見74 ☎052-621-2008	8 珈琲ポプリ 「トルコ・コトジャコーヒー」を100円引き 緑区大高町字鶴田208 ☎052-623-3991 日7:00~18:30 日曜日	9 有松・鳴海紋会館 実演見学等10%引き 緑区有松3008 ☎052-621-0111 日9:30~17:00(休業16:30まで) 日曜日
10 寿限無茶屋 食後のデザートサービス 緑区有松2339 ☎052-624-5006 日11:00~21:00 日曜日	11 うなぎくうあん 飲食代10%引き 緑区南陽122 ☎052-623-9888 日11:30~14:00、18:00~22:00 日曜日	12 柏屋製菓舗 1,000円以上で「おけはざま最中」1個進呈 緑区有松桶狭間幕山47-8 ☎052-621-0109 日8:00~19:30 日曜日
13 喫茶チェルシー お客様に限り史跡見学中は駐車可(台数制限有) 緑区有松桶狭間七丁目201 ☎052-623-5797 日8:00~17:00 日曜日	14 あさだ珈琲 ランチ100円引き 緑区南陽303 ☎052-623-6390 日8:00~ 日曜日	15 久乃屋 1,000円以上で桶狭間古戦場最中(小)1個進呈 豊明市前橋町鶴江1662-2 ☎052-97-5168 日8:00~20:00 日曜日
16 ひじりや 商品10%引き(一部対象外) 豊明市新田町14-3 ☎0562-92-0555 日8:00~20:00 日曜日	17 鶴の家 桶狭間パイ10個以上で「殿様餅」1個進呈 豊明市新田町吉池1-2 ☎0562-92-0737 日8:00~20:00 日曜日	18 三寿園 自家製品1,000円以上で「身がわりもなか」1個進呈 豊明市阿野町野瀬/海戸34 ☎052-92-0737 日9:00~20:00 日曜日



桶狭間古戦場プロジェクトチーム

桶狭間の戦い関連 歴史年表

1467	応仁元年	応仁の乱
1543	天文12年	種子島に鉄砲・火薬伝来
1553	〃 22年	赤塚の合戦(織田信長×山口九郎二郎)
1554	〃 23年	村木砦の戦い(織田信長×今川軍)
1560	永禄3年	桶狭間の戦い(織田信長×今川義元)
1573	天正元年	室町幕府滅亡
1575	〃 3年	長篠の戦い(織田信長×武田勝頼)
1582	〃 10年	本能寺の変(明智光秀×織田信長)
1590	〃 18年	豊臣秀吉が天下統一
1600	慶長5年	関ヶ原の戦い

交通アクセス



名古屋市青少年宿泊センター

〒459-8001 緑区大高町字塚地4-6 TEL:052-624-4401 FAX:052-624-4403

桶狭間古戦場プロジェクトチーム

名古屋市区役所まちづくり推進室、桶狭間古戦場保存会(緑区)、緑区ルネサンスフォーラム、豊明市役所産業振興課、桶狭間古戦場祭・館桶狭間保存会

TEL:052-625-3878 FAX:052-623-8191

TEL:0562-92-8312 FAX:0562-92-1125